

東濃信金本店 新築建て替え

敷地内で計画

東濃信用金庫(市原好二理事長)は、多治見市本町の本店を建て替える。多治見駅南の現在の本店敷地内の駐車場に新築する方針。

現在の本店は1972年に完成。敷地面積約4300平方メートル、鉄骨8階建てで本店、本部機能が入る。2022年に創業100周年を迎えることや建物の老朽化が進んでいることから、

新築して機能更新と顧客の利便性向上を図る。

年内に規模や機能といった基本構想をまとめ、その後、基本設計、実施設計を行う。

多治見駅南では22年6月のオープンを目指して商業・業務棟、住宅棟などを整備する市街地再開発事業が進められており、本店の新築で駅前のイメージ向上にも寄与する。